

持続社会イニシアティブ国際会議 (ICSI2015)・第8アセアン環境工学会議  
(AEEC) がマレーシア-日本国際工科院主催で開催  
(2015年8月24-25日)

INTERNATIONAL CONFERENCE ON SUSTAINABILITY INITIATIVES (ICSI 2015) IN CONJUNCTION WITH 8TH ASEAN ENVIRONMENTAL ENGINEERING CONFERENCE (AEEC)が、2015年8月24-25日に、マレーシア・クアラルンプール市のマレーシア工科大学のマレーシア-日本国際工科院 (UTM/MJIIT) において開催されました。本国際会議は、「持続社会構築のための環境工学」を中心とする国際会議であり、MJIITの環境グリーン工学科 (EGT) が主催して開催され、アジア地域の研究者を中心に、日本の大学からも基調講演者が招待され講演を行いました。

会議では、マレーシア高等教育局筆頭次官であるザイニ・ウジャン博士(前 UTM 副学長)が基調講演を行い、持続社会実現のための教育の重要性や技術開発の重要性について述べられました。また、筑波大学からは、白岩善博教授 (学長特別補佐 (特命：環境)) が招かれ、藻類バイオ燃料生産技術開発 (Algal Biofuel Production Technology and Engineering) に関する講演を行いました。



筑波大学クアラルンプールオフィスを訪問した国際会議参加者。左から、白岩善博教授 (筑波大学学長補佐)、松井三郎名誉教授 (京都大学)、牧島亮男シニアリサーチフェロー (北陸先端科学技術大学院大学、東京大学名誉教授)、松下潤教授 (中央大学、芝浦工業大学客員教授) および岩本浩二准教授 (UTM/MJIIT、筑波大学特任准教授、北陸先端科学技術大学院大学客員准教授)。



筑波大学植物代謝生理学研究室（白岩研究室）出身の岩本浩二准教授（長期派遣教員）が共同利用中の UTM/MJIIT 内の実験室の一角。



岩本准教授が指導する学生オフィス（共同実験室にガラス越しで隣接している）